

## 平成21年9月期 第1四半期決算短信

平成21年1月28日

上場会社名 株式会社ファルコバイオシステムズ 上場取引所 東証一部・大証一部  
 コード番号 4671 URL <http://www.falco.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平崎 健治郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役企画管理本部長 (氏名) 安田 忠史 TEL 075(257)8556  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月3日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年9月期第1四半期の連結業績 (平成20年9月21日～平成20年12月20日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第1四半期	9,840	—	456	—	406	—	△100	—
20年9月期第1四半期	9,297	8.1	513	△0.7	471	△7.1	188	△7.3

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年9月期第1四半期	△8	30	—	—
20年9月期第1四半期	15	32	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
21年9月期第1四半期	30,312		11,204		37.0	926	45	
20年9月期	29,257		11,394		38.9	939	79	

(参考) 自己資本 21年9月期第1四半期 11,204百万円 20年9月期 11,394百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	年間
20年9月期	円 銭 — —	円 銭 10 00	円 銭 — —	円 銭 10 00	円 銭 20 00
21年9月期	— —	— —	— —	— —	20 00
21年9月期 (予想)	— —	10 00	— —	10 00	

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

### 3. 平成21年9月期の連結業績予想 (平成20年9月21日～平成21年9月20日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	18,800	4.1	190	△53.4	140	△55.2	20	△20.6	1	65
通期	39,700	6.0	940	△7.9	840	△1.6	320	176.6	26	39

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更： 有

② ①以外の変更： 有

（注）詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数 （自己株式を含む）	21年9月期第1四半期	12,356,177株	20年9月期	12,356,177株
② 期末自己株式数	21年9月期第1四半期	262,397株	20年9月期	231,627株
③ 期中平均株式数 （四半期連結累計期間）	21年9月期第1四半期	12,110,794株	20年9月期第1四半期	12,305,918株

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、米国に端を発した金融危機、中国など新興国の景気減速等から、輸出の鈍化、設備投資の減退、個人消費の低迷などが顕著となり、企業業績の下振れ懸念とともに、深刻な景気後退局面にあります。

受託臨床検査市場及び調剤薬局市場においても、人口高齢化や医療の高度化に伴う医療費増大に対処するための医療制度改革や企業間の競争激化など、厳しい市場環境が継続しております。

このような経営環境のもと、臨床検査事業につきましては、新規顧客の獲得を図るとともに、受託単価の適正化・維持及び検査原価の低減などを進めることにより、収益力の向上に努めてまいりました。一方で検体集配にかかる費用等の販売費及び一般管理費が増加いたしました。

調剤薬局事業につきましては、既存店舗の原価管理を徹底して行うなど、収益力の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期の業績につきましては、売上高9,840百万円、営業利益456百万円、経常利益406百万円となりましたが、株式市況の低迷により、投資有価証券の時価下落の結果、投資有価証券評価損を計上したことで四半期純損失100百万円となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

臨床検査事業につきましては、新規顧客の獲得及び検査体制の強化を図った結果、受託検体数が増加いたしました。また周辺事業につきましてレセプト請求のオンライン化に向けて、日本医師会が推進する「日医標準レセプトソフト（ORCA）」の導入支援・サポートサービスの実施、検査結果照会システム「TASCAL for ASP」及び「Healthcare TASCAL」及び診療所向け電子カルテシステム「@home Dr.」について引き続き拡販を進めました。この結果、臨床検査事業及び周辺事業の売上高は、6,646百万円となりました。

調剤薬局事業につきましては、既存店舗の経営の効率化を進めるとともに、売上拡大を図った結果、調剤薬局事業の売上高は、3,194百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期の財政状態につきましては、総資産30,312百万円（前連結会計年度末比1,055百万円増加）、負債合計19,108百万円（前連結会計年度末比1,245百万円増加）、純資産合計11,204百万円（前連結会計年度末比190百万円減少）となりました。主な増減内容は、資産では、売上増加に伴い売掛金、たな卸資産が増加しております。またリース会計基準の早期適用に伴い、リース資産が増加しております。負債では、試薬費増加に伴い買掛金が増加しております。またリース会計基準の早期適用によりリース債務が増加しております。純資産につきましては、当期純損失の計上、配当金の支払いにより減少しております。

#### (2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ363百万円減少し3,908百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは480百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が50百万円、減価償却費460百万円、投資有価証券評価損328百万円、及び法人税等の支払額316百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは499百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出326百万円及び投資有価証券の取得による支出184百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは345百万円の支出となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出116百万円及びファイナンス・リース債務の返済による支出113百万円によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年9月期の業績予想につきましては、平成20年11月5日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

##### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### ① 簡便な会計処理

###### 1) 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

###### 2) たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

###### 3) 減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

###### 4) 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

###### 5) 経過勘定項目の算定方法

一部の経過勘定項目につきましては、合理的な算定方法による概算額で計上しております。

###### ② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

##### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

###### ① 「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

###### ② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

たな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

###### ③ 「リース取引に関する会計基準」等の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用ができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年12月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,949	4,312
受取手形及び売掛金	7,195	6,936
商品及び製品	739	444
仕掛品	200	185
原材料及び貯蔵品	365	312
その他	723	674
貸倒引当金	△70	△71
流動資産合計	13,105	12,795
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,744	8,740
減価償却累計額	△4,234	△4,163
建物及び構築物（純額）	4,510	4,576
土地	4,693	4,693
その他	8,826	7,712
減価償却累計額	△5,888	△5,672
その他（純額）	2,938	2,039
有形固定資産合計	12,141	11,309
無形固定資産		
のれん	466	485
その他	748	735
無形固定資産合計	1,214	1,221
投資その他の資産		
その他	4,006	4,092
貸倒引当金	△155	△161
投資その他の資産合計	3,850	3,930
固定資産合計	17,207	16,461
資産合計	30,312	29,257

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年12月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,139	3,447
短期借入金	6,328	6,412
未払法人税等	167	284
引当金	204	517
その他	3,111	2,611
流動負債合計	13,951	13,272
固定負債		
長期借入金	2,753	2,786
引当金		
退職給付引当金	1,103	1,078
役員退職慰労引当金	639	641
その他	660	84
固定負債合計	5,156	4,590
負債合計	19,108	17,862
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,371	3,371
資本剰余金	3,363	3,363
利益剰余金	4,578	4,799
自己株式	△196	△173
株主資本合計	11,117	11,361
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	87	32
評価・換算差額等合計	87	32
純資産合計	11,204	11,394
負債純資産合計	30,312	29,257

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年9月21日 至 平成20年12月20日)
売上高	9,840
売上原価	6,608
売上総利益	3,231
販売費及び一般管理費	2,775
営業利益	456
営業外収益	
受取配当金	8
その他	9
営業外収益合計	17
営業外費用	
支払利息	30
その他	37
営業外費用合計	67
経常利益	406
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1
その他	0
特別利益合計	2
特別損失	
投資有価証券評価損	328
減損損失	25
その他	4
特別損失合計	358
税金等調整前四半期純利益	50
法人税、住民税及び事業税	176
法人税等調整額	△25
法人税等合計	150
四半期純損失(△)	△100

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1 四半期連結累計期間  
(自 平成20年9月21日  
至 平成20年12月20日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	50
減価償却費	460
減損損失	25
のれん償却額	19
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△312
受取利息及び受取配当金	△8
支払利息	30
投資有価証券評価損益 (△は益)	328
売上債権の増減額 (△は増加)	△289
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△362
仕入債務の増減額 (△は減少)	690
その他	169
小計	818
利息及び配当金の受取額	8
利息の支払額	△28
法人税等の支払額	△316
営業活動によるキャッシュ・フロー	480
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△326
無形固定資産の取得による支出	△72
投資有価証券の取得による支出	△184
その他	83
投資活動によるキャッシュ・フロー	△499
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△116
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△113
配当金の支払額	△91
自己株式の取得による支出	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△345
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△363
現金及び現金同等物の期首残高	4,272
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,908

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年9月21日 至平成20年12月20日）

	臨床検査事業 及び周辺事業 (百万円)	調剤薬局事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上	6,646	3,193	9,840	—	9,840
(2) セグメント間の内部売上高	—	0	0	(0)	—
計	6,646	3,194	9,841	(0)	9,840
営業利益	427	190	617	(161)	456

(注) 事業区分の方法

事業は役務又は商品等の内容及び市場の類似性を考慮して区分しております。

事業区分	主要役務又は商品
臨床検査事業及び周辺事業	特殊臨床検査、一般臨床検査、食品衛生・環境検査、病院検査室の運営 電子カルテの販売
調剤薬局事業	調剤薬局の運営

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

「参考資料」

前第1四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 前第1四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(自平成19年9月21日 至平成19年12月20日)

科 目	前年同四半期 (平成20年9月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	9,297
II 売上原価	6,115
売上総利益	3,181
III 販売費及び一般管理費	2,667
営業利益	513
IV 営業外収益	19
V 営業外費用	61
経常利益	471
VI 特別利益	29
VII 特別損失	60
税金等調整前四半期純利益	440
法人税等	251
四半期純利益	188

(2) (要約) 前第1四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(自平成19年9月21日 至平成19年12月20日)

区 分	前年同四半期 (平成20年9月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	201
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△961
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
V 現金及び現金同等物の増加額(減少:△)	△760
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,873
VII 現金及び現金同等物の期末残高	3,113

(3) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成19年9月21日 至平成19年12月20日）

	臨床検査事業 及び周辺事業  (百万円)	調剤薬局事業  (百万円)	計  (百万円)	消去又は全社  (百万円)	連結  (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上	6,372	2,924	9,297	—	9,297
(2) セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—
計	6,372	2,924	9,297	—	9,297
営業費用	5,890	2,726	8,616	166	8,783
営業利益	481	198	680	(166)	513

(注) 事業区分の方法

事業は役務又は商品等の内容及び市場の類似性を考慮して区分しております。

事業区分	主要役務又は商品
臨床検査事業及び周辺事業	特殊臨床検査、一般臨床検査、食品衛生・環境検査、病院検査室の運営 電子カルテの販売
調剤薬局事業	調剤薬局の運営